

当院における心房心室同期型リードレスペースメーカの現状と展望

◎荒木 沙夜乃¹⁾、浅沼 里依子¹⁾、東 咲希¹⁾、八木 麻乃¹⁾、市川 真嗣¹⁾、喜多 真紀¹⁾、青山 明穂¹⁾
伊勢赤十字病院¹⁾

【背景】昨年 Medtronic 社製 VDD モード搭載のリードレスペースメーカ（以下 MicraTMAV）が登場した。今回は現在まで経験した MicraTMAV 植え込み症例の現状と、心房同期率、follow up の結果について報告する。

【対象及び方法】従来の Medtronic 社製 VVI モード搭載のリードレスペースメーカ（以下 MicraTMMVR）のみが植え込まれていた 2020/11～2021/3 と、MicraTMAV が登場してから 2021/11～2022/3 の期間でのリードレスペースメーカ植え込み件数を比較した。

また 2021/11～2022/4 までの期間に植え込まれた MicraTMAV、13 例（男性 9 名、女性 4 名、平均年齢 81.7 歳）の内、1 ヶ月後チェックにて経過が得られた 7 例を対象とし、植え込み翌日チェック時に atrial sensing setup での心房同期ペーシング率を確認した。トラブル・生理的現象にて心房同期率が低値であった場合には設定変更を行い、1 ヶ月後チェックまでの心房同期ペーシング率の増加を調査する。

【結果】リードレスペースメーカ植え込みの割合は、MicraTM VR のみが植え込まれていた期間では、ペースメー

カ植え込み総件数の 6%であったのに対し、MicraTM AV の植え込み開始以降は総件数の 30%まで増加した。また植え込み直後に設定した atrial sensing setup での心房同期ペーシング率を翌日チェック時に確認したところメーカー目標の 70%に対して、当院での平均は 58.1%であった。植え込み翌日のチェック時に認めたそれぞれの現象・トラブルに対して適切な設定変更を行い、1 ヶ月後チェックにて心房同期ペーシング率を確認したところ、平均 82.1%に増加した。しかし、心房波形や心房レート不安定な症例では心房同期率はいずれも低値であった。

【まとめ】MicraTMAV の登場により、より多くの患者にリードレスペースメーカの植え込みが可能になった。

適切な設定変更を行うことで、より生理的なペーシングを得ることができると考えられるが、適応疾患であっても心房波形や心房レート不安定な症例においては心房同期が期待できない為、MicraTMAV が不向きな症例が一定数存在する事も示唆される。今後さらなる症例を積み重ね、MicraTMAV の有用性を検討したい。

連絡先 0596-28-2171